ワークショップ：非動物実験による化粧品の安全性評価を目指すICCS（International Collaboration on Cosmetics Safety）の現在地

日時：2026年12月15日（火） 14:00～17:00

会場：赤坂インターシティコンファレンス　401会議室
（〒107-0052　東京都港区赤坂1-8-1　赤坂インターシティAIR 4F）

参加費無料・申込要

申込用URL：https://forms.cloud.microsoft/r/mM5nyFepBD

定員：100名（対面のみ） 申込〆切：2026年12月1日（火）

主催者：国立医薬品食品衛生研究所　足利太可雄

現在AMED医薬品等規制調和・評価研究開発事業において、「NAMsを用いた医薬品等の安全性評価試験の開発と行政活用に関する研究（代表：足利太可雄）」が行われており、非動物実験による化粧品・医薬部外品の開発の可能性を検討しています。その実現には国際動向の理解が重要であるため、ISSCのDr. Allenを招き本ワークショップを開催いたします。なお、講演は英語で行われますが、すべて逐次通訳されます。また講演の後、質疑応答を予定しています。化粧品開発に関わる皆様の積極的なご参加をお願いいたします。

逐次通訳付！



[プログラム]

1. 開会あいさつ
2. 講演

タイトル：ICCSにおけるNGRAフレームワークの取り組み

演者：David Allen, Ph.D., Chief Scientist, ICCS

休憩

3. Dr. Allenを囲んで意見交換
4. 閉会あいさつ

後援：日本化粧品工業会、日本化粧品技術者会、日本香粧品学会

連絡先：国立医薬品食品衛生研究所　ゲノム安全科学部
足利太可雄（takao.ashikaga@nihs.go.jp）
神奈川県川崎市川崎区殿町3-25-26
TEL: 044-270-6597